

『H21 年度 第 2 回定例会』および『H22 年度 総会・特別講演』の報告

1. はじめに

北方海域技術研究会では、2011 年(平成 23 年)2 月 18 日に平成 22 年度の第 2 回定例会を札幌市のかでる 2・7 (学習室 AB)にて開催しました。さらに、4 月 22 日に平成 23 年度の総会・特別講演を同じく、かでる 2・7 (520 研修室)で開催しましたので報告いたします。

2. 平成 22 年度 第 2 回定例会

第 2 回定例会は、56 名の参加者を得て開催いたしました。定例会では北方技術研究会大塚代表の開催挨拶の後、大塚代表を含めた 3 人の講師からご講演いただきました。

講演 1 は、「北極海を貨物船が進む ～北極海航路(NSR)の概要と特徴」と題して北日本港湾コンサルタント(株)の泉山耕氏を講師としてお迎えしました。講演では北極圏の海氷減少により期待される北極海航路の可能性について紹介していただきました。北極海航路が期待される要因として、距離の短縮、北極海の資源、テロ・海賊対策、海氷の減少などがあげられました。また、北極海航路に必要な耐海氷の船舶構造など多岐にわたる示唆をいただきました。

講演 2 は、「苫小牧港湾を北極海航路(NSR)のハブ港に」と題して当会の代表でもある北日本港湾コンサルタント(株)の大塚夏雄氏からご講演いただきました。講演では北極圏の天然資源やその開発の進展を核とした北極海航路実現による海上輸送の可能性と苫小牧港湾の優位性を解説していただきました。

講演 3 は、「海洋生態系モデルとその応用」と題して、東海大学地球環境工学科教授中田喜三郎氏からご講演いただきました。講演では海洋生態系モデルとは何かから説き起こし具体的事例にわたってお話



講演中の泉山耕氏



講演中の当会代表大塚夏彦氏



講演中の中田喜三郎氏

しいいただきました。具体的事例では、富栄養化の問題を取り上げ赤潮による有機物の増加や底層の貧酸

素化と青潮の現象解析について解説いただきました。また、従来取り扱えなかった干潟や藻場の生態系モデル開発の試みなど当研究会会員にとって貴重な示唆が得られました。

3. 平成 23 年度総会・特別講演会

平成 23 年度の総会・特別講演会は総会に 23 名、講演会 51 名の出席を得て、かでの 2・7 (520 研修室)において開催されました。総会では平成 22 年度事業・決算報告、平成 23 年度役員変更、事業計画・予算案が承認され研究会の運営方向が確認されました。特別講演会では当研究会大塚会長の開会挨拶の後、2 つの題目について講演いただきました。

講演 1 は、「ノルウェーの漁業 ～インダストリー化による振興～」と題して北海道大学大学院水産科学研究院水産総合基盤システム科学分野 准教授古屋温美氏からご講演をいただきました。講演ではノルウェーの漁業が明確な国の方針のもとに輸出産業として成長拡大してきた経過が示されました。漁業生産の観点からは流通を核とする漁獲管理手法、サーモンを中心とする養殖生産や生産から加工までの一貫した高度な生産システムが紹介されました。流通、経営ではネットオークションとミニマムプライスが紹介され現在の日本漁業が抱える課題の解決の 1 手法と考えられる制度が紹介されました。



講演中の古屋温美氏

講演 2 は、「沿岸防災に関する最近の話題」と題して室蘭工業大学大学院工学研究科くらし環境領域教授木村克俊氏からご講演いただきました。講演では東北地方の津波の歴史と釜石港における防波堤被害の分析、北海道における津波対策について示唆的なお話をいただきました。今回の東日本大震災にお

ける釜石港における防波堤被害の分析では世界最深の湾口防波堤(1982～2010)の考え方や効果が説明されるとともにマウンドの洗掘が原因となった被災の分析結果が説明されました。



講演中の木村克俊氏

また、別途の話題として離島は EEZ を決定する起点となり、その基盤整備の重要性が紹介されました。

4. おわりに

平成 22 年度の第 2 回定例会、平成 23 年度の総会・特別講演の両会とも講演者の方々には、快く講演をご承諾いただき誠に感謝いたします。定例会では今後の北海道産業の発展に対して港湾・航路の視点、水域での各種基盤を考えていく際に不可欠である生態関連の予測に関する最新知見を示していただいたと考えております。また、特別講演会では漁業資源がミニマムプライスや入札を絡めた制度の中での管理や輸出を目標とした明確な施策は資源や価格の低迷にあえぐ北海道漁業の再生へのビジョンを示すものと考えます。さらに沿岸防災に関する講演は時期を得たものであると同時に北海道における今後の沿岸防災の在り方を示唆するものと考えております。各講演では、質疑応答も含め大変有意義な時間を過ごさせていただいたことを、この場をお借りして重ねて御礼申し上げます。また、講演会後の意見交歓会でも活発な情報交換が行われましたことを合わせてご報告申し上げます。

北方海域技術研究会では今後も講演会などの開催を予定しております。会員の方は勿論、会員以外の方も歓迎致しますので是非御参加いただきますようお願い申し上げます。